

西条市立河北中学校（2年生）

令和2年11月25日（水）



えひめジョブチャレンジU-15事業



河北中学校2年生49人が、職場体験学習の代替活動として「働く人に学ぶ講座」を体験しました。地域の4か所の事業所等から講師の先生をお招きし、農業・製造業・接客業等のお話を伺いました。

＜生徒感想＞

（農業）

農業は大変な仕事、というイメージだったが、果物の栽培だけでなくスイーツに加工したり、贈答用の商品を作ったりするなど、販売方法を工夫していることを知った。AIを使って農場を管理するなど、技術改革が進んでいると聞いて興味を持った。

（製造業）

タオルの製造工程や糸の染色など、専門的な知識を教えていただいた。赤・青・黄色の3色で、あらゆる色を作り出していると聞き驚いた。普段何気なく使っているタオル1枚にも、製作にかかる多くの人の思いが込められていると知り、感謝しながら使いたいと思った。

（接客業）

リンパマッサージについてお話を伺い、自宅でのセルフケアの方法も教えていただいた。お客様の心身を癒し、喜んでもらえるようハートで接することの大切さを学んだ。

（教育関係）

「子どもが好きだから、この仕事に就いた。自分の好きなことをたくさん見付けて、それが仕事につながると毎日が楽しくなる。」という保育士さんの言葉が印象に残った。

＜受入事業所等感想＞

中学生たちが、熱心に話を聞いてくれてとてもうれしく思った。進学等により地元を離れる若者が多い中、少しでも地域の産業について知ってもらうことにより、将来地域を支えようと思う子どもたちが増えてほしいと思った。

